



報道関係各位

GE ヘルスケア・ジャパン

開業医向け超音波診断装置「LOGIQ V シリーズ」の発売を記念し 初の開業医向け Web ライブセミナーを開催 ～地域医療を支える開業医向けに超音波診断の意義を解説、 LOGIQ V シリーズの使い方をハンズオンで紹介～

医療課題の解決に取り組むヘルスケアカンパニー、GE ヘルスケア・ジャパン株式会社(本社:東京都日野市、代表取締役社長兼 CEO:川上潤)は 9 月 16 日(水)、汎用超音波診断装置“ LOGIQ(ロジック)”シリーズの新モデル「LOGIQ V(ブイ)シリーズ」の発売を記念し、初の「かかりつけ医のための超音波テクニック Web Seminar」を開催しました。

地域医療を支える開業医には、高齢化によりますます増加する医療のニーズに対応するための、スピーディーで的確な診断が期待されています。より良いプライマリ・ケアを模索する一方で、日々の診療の忙しさにより、セミナーや学会等スキルアップの機会に割ける時間が不足しているというのが多くの開業医の悩みでもあります。このたび、そのような開業医の皆さんへ GE ヘルスケア・ジャパンとして初めて、超音波の使い方のコツを提供するライブセミナーを、二名の先生方によるハンズオンで実施しました。350 名を超える事前申し込み、当日は 250 名以上のウェブ参加があり、参加者の関心の高さを示すものとなりました。

はじめに日本大学病院 消化器内科 科長 超音波診断センター長 小川眞広先生が登場され、腹部超音波検査を行う上で重要なポイントを GE ヘルスケアの超音波診断装置を使いながら説明されました。地域医療における超音波診断の意義について小川先生は、「スピーディーに的確な診断を行うことができる超音波検査は、開業医が患者とのコミュニケーションツールとしても活用することができます。今後地域医療の場で、超音波診断が触診と同じ感覚で使われるようになることを期待しています」と述べました。

続いて、医療法人松尾クリニック理事長 松尾汎先生が血管エコーの実際を紹介され、「超音波診断は、抽出した画像を観察し、臨床に活用するという段階まで使うことができます。例えば、頸動脈エコーにより動脈硬化の進行具合を診て、生活習慣病の診断にも活用することも可能となります」と、今後の開業医による超音波診断の活用を期待を寄せました。



小川先生



松尾先生

さらに当日は、両先生が会場で使用された汎用超音波診断装置「LOGIQ」の新モデル「LOGIQ V5 (ロジック ブイファイブ)」の製品特徴と機能も紹介されました。「LOGIQ V5」は、地域の健康と診療を支える開業医のニーズに対応するソリューションを搭載した新製品です。コンパクトでありながら高画質と高機能を保ち、スピーディーな診断を実現します。



当日の会場の様子(Webinar で全国の参加者に配信)

超音波検査は、病気による体の変化や心機能検査などをリアルタイムで画像化することを可能とし、近年では動脈硬化、血栓の有無、五十肩、リウマチの診断、整形外科領域など様々な場面での活用が広がっています。GEヘルスケア・ジャパンでは、これからも地域医療を支えるかかりつけ医(開業医)による住民のQOL向上をサポートするために、超音波検査を行うことが出来る仕組みづくりを推進していきます。

■「LOGIQ V5」製品特長

・スピーディーで的確なスキャン手順をサポートするスキャンナビゲーション

スキャン方法をアニメーションで解説する「スキャンコーチ アニメーション」、正常画像を表示させて、描出のサポートとして使用したり、患者への検査説明に活用できる「スキャンコーチ リファレンス」、煩雑なスキャン手順をリスト化し検査時間の大幅短縮を実現する「スキャンアシスタント」を搭載

・コンパクトマシンの域を超えた高画質

弊社コンパクトマシンでは初の同時4音線受信を採用し、従来の同時2音線受信と比べて更なる高画質を実現

・充実した自動分析ツールで読影が効率化

多彩な分析ツール・解析機能により、シンプルな操作で読影が可能に



・コンパクトで省スペース

開業医施設でも導入しやすいコンパクトな設置面積

幅430mm×奥行630mm×高さ1340mm

重量約41kg



LOGIQ V5

■製品概要

製 品 名: 汎用超音波画像診断装置 LOGIQ V5

発 売 日: 2015年9月16日

初年度国内販売目標: 400台

医療機器認証番号: 227ABBZX00002000号

※LOGIQ V3は汎用超音波診断装置 LOGIQ V5の類型です

GE ヘルスケア・ジャパンの超音波診断装置

当社の超音波診断装置は、現在、汎用の「LOGIQ (ロジック)」、循環器用の「Vivid (ヴィヴィッド)」、産婦人科用の「Voluson (ボルソン)」、各診療科の特定ニーズに対応する「Venue (ヴェニュー)」、ならびに2010年10月に発売したポケットサイズの「Vscan (ヴィースキャン)」の5ブランド体制で、エントリーモデルからプレミアムハイエンド機まで、医療機器のニーズにきめ細やかに応える製品を世に送り出しています。また、Venue シリーズやVscan などバッテリー駆動の可能性と簡便性、高い機能性を誇る装置を通じて、在宅・災害医療時や、麻酔科や整形外科、リウマチ科などこれまで超音波診断装置の使用頻度が低かった分野における新たな利用機会の創出を積極的に進めています。

これらの取り組みを通じて、全てのブランドにおいて幅広い製品の投与ならびにサービスの充実を進めることで、優れた医療ソリューションの提供を図り、「人にやさしい、社会にやさしい」医療の実現に貢献することを目指します。

GE ヘルスケア・ジャパンについて

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社は、世界が直面する困難な課題解決に取り組む GE ヘルスケアの中核拠点の1つとして、1982年に設立されました。国内に開発、製造から販売、サービス部門までを持ち、日本のお客様のニーズにお応えする、最先端的な医療技術ならびに医療・研究機関向けの各種サービスをお届けしています。CTやMRI、超音波診断装置などの医療用画像診断から、体内診断薬、細胞解析装置などのライフサイエンス(生命科学)まで幅広い分野にわたる専門性を駆使しながら、GEの世界戦略「ヘルシーマジネーション」で掲げる「医療コストの削減」「医療アクセスの拡大」「医療の質の向上」の実現を目指します。2015年7月1日現在の社員数は約2,000名、国内に本社および54カ所の事業拠点。

ホームページアドレスは www.gehealthcare.co.jp (ライフサイエンス統括本部: www.gelifesciences.co.jp)。

<お問い合わせ先>

GE ヘルスケア・ジャパン (株) コミュニケーション本部 ブランチャード/松井
Tel: 0120-202-021